

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	今後も「できること」「できそうなこと」「各活動の要望」「行動障害(原因)」「解決策」等のアセスメントを増やすと共に、特に移乗、移動については留意点を含め、詳細に記載し、全職員で共有する方法を検討していく予定である。	「できること」「できそうなこと」「各活動の要望」「行動障害(原因)」「解決策」等のアセスメントを増やすと共に、特に移乗、移動については留意点を含め、詳細に記載し、全職員で共有する方法を検討していく。	業務日誌に加えて利用者様の特変を覚書として記載し、全職員が回覧し共有する。	1 ヶ月
2	30	今後も緊急時や体調変化時の観察能力と報告ポイント(記録)等の能力を向上させ、早期発見、早期対応に繋げていきたいと考えており、ホームの看護師からの指導や研修の機会を増やしていく予定である。	緊急時や体調変化時の観察能力と報告ポイント(記録)等の能力を向上させ、早期発見、早期対応に繋げていきたいと考えており、ホームの看護師からの指導や研修の機会を増やしていく。	ホームの医療連携看護師にも上記記載の特変覚書に必ず目を通していただき迅速な対応に繋げる。と同時に年間の予め決めているテーマに添って職員会議等にて研修の継続をする。	6 ヶ月
3	36	今後も職員会議等で接遇研修を行い、“言霊”のみならず、日々の“言動”の振り返りを続けていく予定である。「優しさを言葉に出して」という代表のお言葉を、日々実践に繋げる方法を全職員で検討していく予定である。	職員会議等で接遇研修を行い、“言霊”のみならず、日々の“言動”の振り返りを続けていく予定である。「優しさを言葉に出して」という代表の言葉を、日々実践に繋げる方法を全職員で検討していく。	ホームの独自の理念の中に“優しさ”の言葉を加え職員会議等で反復し職員それぞれの意見を出し合い「あ うん」の呼吸で必要な言葉として定着していく。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月